

ひどく怒っているように見えるのでした

辺りには海鳴りだけが響いていました
強い向かい風が傷んだ髪先を撫でてゆき
磯の匂いを含ませました

思わず押さえつけた指先に
髪の毛の一本一本が食い込むような
鋭敏な感覚がありました

後ろを振りかえると
さつき歩いてきたはずの砂浜に潮が満ち
あちこちで白波が立っており
遠くの街灯が点いたり消えたりしていました

それで
瞼を
開けるのも
閉じるのも
やけに苦しいことに気づいて
一秒ごとに長い瞬きをしました

それは
精一杯
人間の振りをしているかのようにでした

震えるような冷や汗に
渦を巻くような目眩がしました